



第2四半期
第 **87** 期 株主通信
2022年4月1日から2022年9月30日まで

 **理研ビタミン株式会社**

証券コード:4526

【写真】
食品用改良剤の海外開発拠点
リケビタ・シンガポール

■ 三 ぞあいさつ

平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年3月期上期は、コロナ禍に加え、ウクライナ情勢を背景とした原材料やエネルギー価格の高騰など、経営環境が厳しさを増しました。想定を超えるコスト上昇に対し、当社は価格改定や低採算品の見直しを行うとともに、原材料の安定調達に努めました。その結果、特に海外事業が大幅に伸長し、期初計画を上回る四半期純利益を計上することができました。

当社は今年5月に「持続可能な社会をスペシャリティな製品とサービスで支え、成長する会社になる」という中長期ビジョンを掲げ、新たな中期経営計画をスタートしました。不確実性の高まる世界に適切に対応し、持続的な成長をはかることで、ステークホルダーの皆さまから信頼されるグループを目指してまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2022年12月



代表取締役社長

山木一彦

■ 三 当第2四半期の概況

当社グループの連結業績は、売上高は436億31百万円、営業利益は35億57百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、31億46百万円となりました。

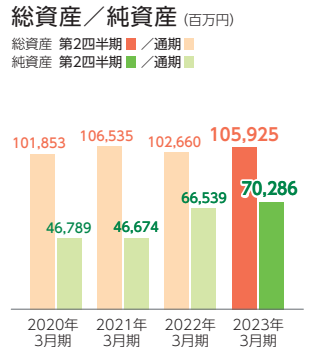
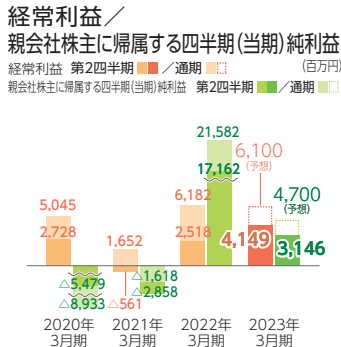
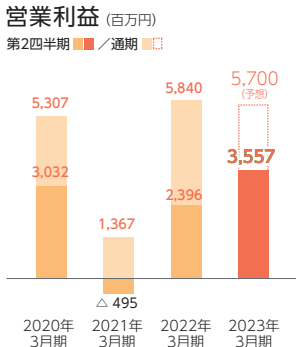
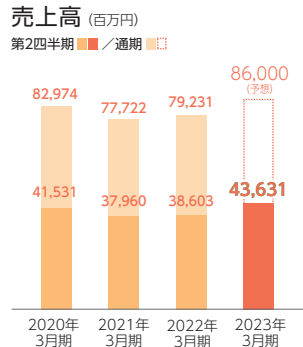
全てのセグメントで原材料やエネルギー価格の高騰の影響を受け、価格改定などの施策を進めました。

「国内食品事業」では家庭用食品の売上が前年の反動や価格改定の影響で減少した一方、業務用食品では外食産業の需

要回復が見られ、加工食品用原料等も機能性食品用原料の販売が好調でした。このため事業全体では増収となりましたが、原材料高騰の影響をカバーしきれず減益となりました。

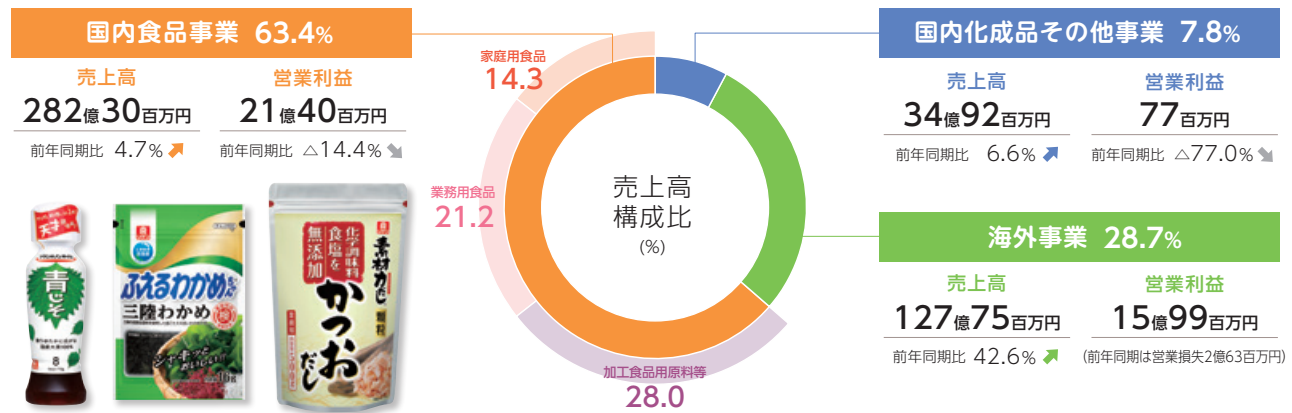
「国内化成品その他事業」は価格改定により増収も、原材料高騰と一部分野での需要減少により減益となりました。

「海外事業」は、販売数量は減少したものの、価格改定の浸透に加え為替の影響もあり、大幅な増収増益となりました。



■ 三 セグメント別事業概況

※下記の各事業の数値には、セグメント間の内部売上高を含めています。売上高構成比は調整前の数値です。



国内食品事業

家庭用食品 ドレッシング(リケン・ノンオイル、リケン サラダデュオ®)、海藻製品(ふえるわかめちゃん®、わかめスープ)、和風調味料(素材力だし®)、レトルト食品等を一般ご家庭向けに提供しています。

業務用食品 学校給食や外食産業にドレッシング、海藻製品、和風・洋風・中華風の調味料やスープ、米飯調味料といった加工食品を提供しています。また、コンビニ等の中食市場や加工食品メーカーにも、各種調味料等を提案しています。

加工食品用原料等 加工食品メーカー向けに食品用改良剤・色素・ビタミン等を、また、医薬品・健康食品メーカー向けにはビタミンをはじめとする各種ヘルスケア素材等を、それぞれ幅広く提案しています。

国内化成品その他事業

化成品メーカー向けに、プラスチック、ゴム、化粧品、農業用フィルム、食品包装材等の機能性付加や加工性向上に効果的な改良剤を提供しています。その他事業としては飼料用油脂等を販売しています。

海外事業

食品用・化成品用の改良剤、ポークエキスを海外拠点で生産・販売しています。販売先は中国・東南アジア・北米を中心に、世界の数十カ国にわたっています。



ガイモン・エクストラクト (アメリカノポークエキスの製造拠点)

新商品 PICKUP

ふりかけるザクザクわかめ 韓国風ごま油風味

ふりかけるだけの、今までにないわかめが新登場！食欲をそそるごま油と、ザクザクとした弾ける食感が楽しめる、くせになるおいしさのわかめふりかけです。



食べるオートミールスープ やさしい鶏だし風味/ 香ばし焙煎ごま

手軽に美味しく、オートミールにチャレンジ！器にあけてお湯を注げば2分で手軽に食べられるので、忙しい朝にもピッタリ。糖質オフ、しかも食物繊維・鉄分たっぷりです。



新任取締役が語る

アジア・北米における成長戦略

今年度からスタートしている中期経営計画〔2025年3月期 売上高940億円／営業利益80億円〕を達成するには、改良剤を中心とした海外事業の成長が不可欠です。当社は、食品用改良剤事業と海外事業の意思決定の加速とさらなる成長をはかるため、これら各事業を担当する取締役を2022年6月、新たに2名選任しました。今回は新任取締役2名の担当範囲からアジア・北米における展開に焦点を当て、成長戦略について対談を行いました。

― 海外事業について

道津 海外では改良剤を中心に展開しています。当社の改良剤は7～8割が食品用、残りは化成品用という構成です。私が担当する食品用改良剤事業では、乳化剤・ビタミン・色素などを加工食品メーカーさまに提供し、さまざまな食品で使われています。特にベーカリー分野に強く、パンやケーキに関する技術、提案力は世界でも優位性があります。

望月 海外進出当時こそ知名度が無く苦しかったのですが、蒸留モノグリセラ

イド（最も一般的な乳化剤の一種）においては世界一の生産能力を持ち、海外でも「理研ビタミン＝改良剤メーカー」と認知されるまでになりました。

― 重点エリアについて

道津 アジアと北米での展開を加速します。中国や東南アジアの一部は日本の流行を追う傾向があります。日本で培った技術や提案が比較的採用されやすく、当社の技術的優位性を活かせる市場です。一方、北米でも最近、西海岸のある大

手パンメーカーが、日本のパンやケーキをベンチマークにしていることから、現地で市場調査をスタートしました。有望な市場になるのではと期待しています。

望月 北米ではラーメンスープ事業も展開しています。北米のラーメンブームは2012年頃から本格化し、今も続いています。当社が北米に設置したラーメンラボでは、ラーメンの作り方の基礎・応用・レシピ提案といったソリューション提案を行っています。本当においしいラーメンを市場に届けることで、ラーメ

ンを文化として定着させたいと考えています。道津の話にもありましたが、米国のアジア系人口は西海岸に集中しており、現在の2,300万人から2060年には4,600万人に増加するという予測があります。アジアと米国西海岸は、当社が得意とするソリューション提案のニーズが存在する拡大市場であると考えています。

― 持続的な成長のために、注力することは

道津 当社は2019年に国内食品用改良剤の研究開発拠点を集約したA&Iセンター（アプリケーション＆イノベーションセンター）を開設しました。コロナ禍で海外拠点との往来が思うようにできませんでしたが、これからは積極的に人材交流を進め、今まで以上に国内外の最新技術・マー

ケット情報を集めて発信する、情報発信基地としての役割を高めていく考えです。

食品用改良剤は、食品をおいしくするためだけでなく、生産効率アップやおいしさの持続による食品ロス削減にも効果があります。サステナビリティが重視される時代になりましたが、実は食品用改良剤部門では昔からずっと取り組んできたことです。最近ではお客さまの要望が高度化しているので、我々も常にお客さまの求めるレベルの一步先を提案できるように努力を続けていきます。

望月 道津の話の通り、当社の要であるソリューション提案をこれからも着実に進めることに変わりはありません。今はさまざまなサステナビリティ課題が顕在化し、変化しなければ生き残れない時代だと強く感じています。自分自身が変化・成長し続けることで会社を変化

させ、必要とされる会社であり続けられるようにしていきます。

― おわりに

実は同期入社という2人の新任取締役対談でした。それぞれ国内と海外で異なる分野を進んできましたが、今は「同じ目標に向けて進む、一緒に困難を乗り越えていく信頼のおけるパートナー」とのことです。アジア・北米での成長は、今年度からスタートした中長期ビジョンの4本柱のひとつであり、中期経営計画の達成に不可欠な理研ビタミンの成長ドライバーです。スペシャリティ製品で、ソリューション提案を加速していきます。

変化しなければ生き残れない時代。
必要とされる会社であり続ける

取締役 ^{もちつき} 望月 ^{つとむ} 敦

国際事業部門、化成品事業部門担当

略歴

1985年入社。主に海外事業に関する業務に携わり、2010年に国際事業部長。国際事業本部長、執行役員、常務執行役員を経て、2022年から現職。東京都小平市出身。趣味はゴルフ、ピアノ。

道津から一言▶第一印象はもっと気取った雰囲気でした。とにかくパワフルなところは昔から変わりません。

おいしさの提案とともに、
サステナビリティ課題解決を続ける

取締役 ^{どうつ} 道津 ^{のぶお} 信夫

食品改良剤事業部門、調達部門、法務部門担当

略歴

1985年入社。食品用改良剤の営業を経験後、主に食品用改良剤の開発に関する業務に携わり、2009年に食品改良剤開発部長。執行役員、常務執行役員を経て、2022年から現職。長崎県長崎市出身。趣味はゴルフ、千葉ロッテマリーンズの応援。

望月から一言▶第一印象は「目つき悪」でした。今は、人の力を借りるのがうまく、人脈が広いところを尊敬しています。

III 会社概要 (2022年9月30日現在)

商号 理研ビタミン株式会社
設立 1949年8月27日
資本金 25億3,700万円
事業内容 家庭用食品、業務用食品、
加工食品用原料、食品用改良剤、
化成品用改良剤、
ビタミン類等の製造・販売

従業員数 970名(連結1,842名)

取締役

代表取締役社長	山木 一彦
代表取締役専務	伊東 信平
常務取締役	仲野 隆久
取締役	富取 隆浩
取締役	道津 信夫
取締役	望月 敦
社外取締役	平野 伸一
取締役 常勤監査等委員	加藤 栄一
社外取締役 常勤監査等委員	藤永 敏
社外取締役 監査等委員	竹俣 耕一
社外取締役 監査等委員	末吉 永久
社外取締役 監査等委員	末吉 亙

常務執行役員

常務執行役員	小山 真一
常務執行役員	中野 正明
常務執行役員	青木 巧

 **理研ビタミン株式会社**

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目6番1号
TEL(代表) 03-5362-1311
<https://www.rikenvitamin.jp/>

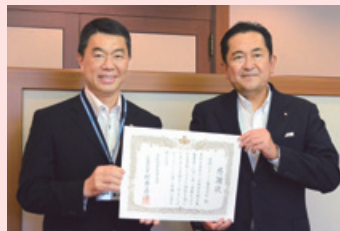
UD
FONT



企業版ふるさと納税を活用

当社は、企業版ふるさと納税の制度を活用し、宮城県が計画する「広域的な防災体制の構築」に寄付を行いました。この寄付に対し、9月5日に宮城県の村井知事より感謝状を贈呈いただきました。

当社は主力商品である『ふえるわかめちゃん®』『わかめスープ』を宮城県多賀城市の理研食品(株)で製造しており、今後起こりえる大規模災害時への備えは当社の事業継続にとっても大きな課題です。寄付金は、東日本大震災の教訓を踏まえた広域防災拠点や圏域防災拠点の整備などに活用されます。



宮城県知事 村井嘉浩氏(左)、
理研ビタミン 代表取締役社長 山木一彦(右)

株主総会資料の電子提供制度について

株主総会資料の電子提供制度が開始されることに伴い、2023年以降も書面による株主総会資料のお受け取りを希望される場合は、議決権の基準日までに書面交付請求のお手続きが必要となります。詳細はご利用の証券会社または下記へお問い合わせください。

電子提供制度に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電子提供制度専用ダイヤル 0120-696-505
(受付時間:土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)
<https://www.tr.mufig.jp/daikou/denshi.html>

